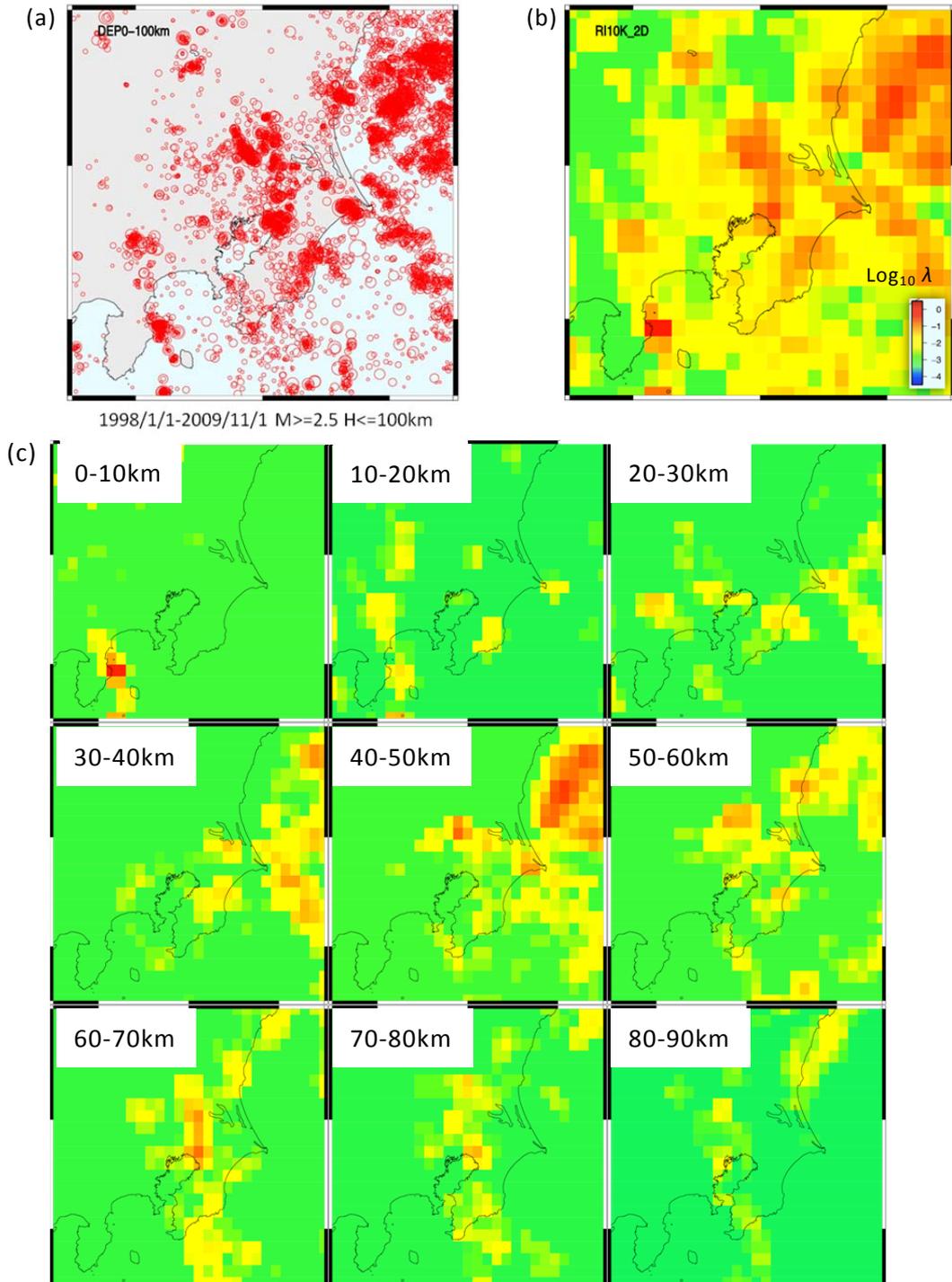


首都圏の過去の地震活動に基づく地震活動予測手法の確立 (3.1.4 参照)



首都圏の地震の震央分布と確率予測の例。(a) 1998年1月1日から2009年11月1日までに発生したマグニチュード2.5以上、深さ0~100kmの地震の震央分布。赤い丸は地震の震央を示す。丸の大きさがマグニチュードを表す。(b) RI10kモデルを用いて(a)を元に2009年11月1日から2010年2月1日までのマグニチュード4.0以上9.0以下、深さ0~90kmで発生する地震を予測した例。(c) 首都圏の地震の確率予測を10km毎に示したもの。(b)、(c)共に水平方向のgridは、 $0.1^\circ \times 0.1^\circ$ 。色は地震発生数の期待値分布を示す。 λ は、(地震数) / (3ヶ月)の意。